

県オリジナルカラーの3月に順化された培養苗はポリポット鉢上げと定植の組合せにより球根肥大を促進できる

福島県農業総合センター 作物園芸部 品種開発科

1 部門名

花き-カラー-栽培

2 担当者名

鈴木誉子、関根綾

3 要旨

県オリジナルカラー品種の種苗は、セルトレイで順化された培養苗が春先に生産者に供給される予定である。苗を受け取った生産者は苗から開花球を養成することとなるため養成技術の確立が必要である。3月に順化した「はにかみ」、「ミルキームーン」、「キビタンイエロー」の苗を用いて開花球を養成する方法について検討したところ、セル苗をポリポットに鉢上げして育苗した後、パイプハウスに定植することで球根肥大を促進できることを明らかにした。

- (1) 4月の無加温パイプハウスを利用した育苗管理では、茎葉が枯れないように温床マット(15°C設定)と小トンネルを利用して10°C以上を保つ。セル苗の根が回ったら9cmポリポットに鉢上げ後、気温18°C以上で管理し、6月にパイプハウスに定植する(図1)。
- (2) 掘上げ時の球根重は、草丈、葉数等地上部の生育が優れる程重く、「はにかみ」が最大となり、「キビタンイエロー」は地上部の枯れる時期が早く最小となった(表1)。
- (3) 1球当たりの球根重は、開花球の目安となる40~50gを「はにかみ」は上回り、1年で開花球を養成できる可能性が示された。



図1 カラー培養苗球根養成方法の流れ

凡例

- 72穴セルトレイに順化(3/9)
- *ガラス温室から無加温パイプハウスに移動し、温床マットと小トンネルを設置(4/13)
- ガラス温室に移動し9cmポリポットに鉢上げ(5/13)
- ◎パイプハウスに定植(6/27)
- ▲掘上げ(11/14)

表1 カラー3品種の掘上げ後の球根

品種	栽培方法	供試数(本)	球根生存(%)	1株当たりの球根		1球当たりの球根		球根の障害の発生率(%)	
				重(g)	分球(個) ³⁾	重(g)	芽数(個)	一部裂傷	一部とろけ
はにかみ	ポリポット ¹⁾	19	100	18.4	1.1	17.5	1.8	0	0
	定植 ²⁾	6	100	135.3	2.0	67.7	3.6	50	0
ミルキー ムーン	ポリポット	12	100	18.2	1.0	18.2	1.4	0	8
	定植	6	100	51.0	1.2	43.7	3.6	14	0
キビタン イエロー	ポリポット	11	100	10.6	1.7	6.1	1.7	0	0
	定植	6	100	36.7	1.5	24.4	4.2	0	0

- 1)ポリポット区は、セルトレイ育苗後にポリポットに鉢上げし、掘上げ時まで栽培
- 2)定植区は、ポリポット区の一部を6月にパイプハウスに定植し、掘上げ時まで栽培
- 3)分球数は、掘上げ時に1株から自然に分かれた球根数(元株の球根含む) 調査 2022年12月12日



図2 順化3週後の培養苗「はにかみ」
撮影：2022年3月30日

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和4~5年度
- (2) 研究課題名 個性豊かな県オリジナル野菜・花き品種の育成(福島県産農産物競争力強化事業)

5 主な参考文献・資料 なし